

観光地域づくり法人形成・確立計画（様式1） 記入にあたっての留意点

- ・ 様式1について、本記入要領に従い、簡潔かつ明瞭に記入すること。
- ・ 各項目に設定された枠内に記載内容が収まらない場合は、枠組みを拡大する等して記入すること。
- ・ 各項目の記載枠については、適宜、行や欄の追加等を行ってよい。
- ・ 記入にあたっては、「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」を参照すること。
- ・ 記入にあたっては、各項目について構想段階のものであっても可能とする。ただし、構想段階の項目は、必ず赤字で記入すること。加えて、構想段階の項目については、設定された枠内に、必ず各項目の実現・実行に向けたスケジュール等を明確に赤字で記入すること。

※次ページ以降に記入し、提出すること。

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和 6 年 7 月 30 日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 篠栗町観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 福岡県糟屋郡篠栗町	
所在地	〒811 - 2417 福岡県糟屋郡篠栗町中央1丁目1番14号	
設立時期	平成 26 年 4 月 1 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	9 人【常勤スタッフ 3 人・パート 6 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	(氏名) 太郎良 順一 (出身組織名) 篠栗町教育委員会・教育長	2023 年より (一社) 篠栗町観光協会の代表理事を務める 篠栗町の教育分野や地元地域区長会等の幅広い経験を持ち、各種行政の要職を歴任、多様な人脈を持ち地域のパイプ役となっている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）	(氏名) 森重 健「専従」 (出身組織名) 西鉄旅行株式会社団体、MICE 担当、カウンター部門管理担当	2022 年より (一社) 篠栗町観光協会の事務局長を務める（事務局運営責任者） 前職旅行会社での様々な経験を経て旅行業に対し深い知見と地域活性のツアー造成、データ収集・分析の経験を有する
財務責任者（CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	石井 絵理「専従」 (出身組織名) 青山法律事務所 株式会社八仙閣本店営業部 森の風・篠栗	2023 年より (一社) 篠栗町観光協会の経理担当として従事。簿記検定 2 級の資格を有し法律事務所の特殊事務や対顧客営業事務等多彩な業務を経験。また森林セラピストの資格を有し、篠栗町森林セラピー活動にも長年取り組んでおり様々な活動実績を有する。
旅行商品造成・販売及びプロモーション責任者	(氏名) 松岡 由香「専従」 (出身組織名) 熊本電気鉄道株式会社	2020 年より (一社) 篠栗町観光協会の事務局運営及び旅行商品開発担当として従事 総合旅行業務取扱管理者の有資格者

	<p>旅行事業部旅行センター 企画運営 株式会社くまもとDMC マーケティング本部 地域まちづくり担当</p>	<p>旅行会社でのツアー造成企画・営業を経て、前職は地域行政や観光事業者と地域活性事業の企画や運営、プロモーション活動に携わる 国内外の富裕層をターゲットとした商品「泰勝寺プレミアムテーブル」を立ち上げ、外国の大臣級招致や日本医師会会議での運営を担う</p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>篠栗町役場産業観光課(役場内部署取りまとめ)、まちづくり課 【役割】篠栗森林セラピー基地のPR・発信・事務 地域観光イベント実施・支援、創業支援</p>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 篠栗町商工会（観光に関連する商業・サービス業の振興等） ・ 篠栗町旅館組合（宿泊対応） ・ 若杉霊峰会（若杉山の管理、保全） ・ 森の案内人の会（森の風篠栗 森林セラピーの振興、案内） ・ 交通事業者（若杉観光、篠栗交通等） ・ 篠栗四国 88ヶ所霊場各寺院・お堂（篠栗四国 88ヶ所霊場の管理、保全 お遍路やお寺体験の対応） ・ 福岡女学院大学（マーケティング・PR） 	
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する合意形成の仕組み要件①】</p> <p>現時点</p> <p>1 総会 （一社）篠栗町観光協会では年に1回総会を開催し、事業計画や予算等の共有及び意見提出の場を設けている。</p> <p>2 理事会 （一社）篠栗町観光協会の理事（11名）には協会としての意思決定に関与できる場として幅広い関係団体の代表者が就任しており、月1回理事会を開催し事業進捗等の報告、共有及び意見交換の場を設けている。</p> <p>3 行政との連携 行政との連携については、総会及び理事会へのオブザーバー出席の他、事業計画、予算の策定・実施についての定期的な意見交換の場を設けている。</p> <p>今後 既存の理事会（宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政等幅広い関係団体が参画）の形態をベースに、より観光施策の立案、観光ビジネスやKPIの共有を行い、戦略的に方針策定し、連携実施できる体制作りに取り組み、合意形成を図る。</p> <p>「仮名：篠栗観光推進協議会」 月1回の協議会開催、協議会会員数12名程度</p>	

<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長会（約 30 名）といった地域の会に対し、これからの篠栗観光の方向性や啓発、協力を目的とした説明会・意見交換の開催（年 2 回予定） ・ 2021 年 10 月に観光客対応強化と地域住民集いや観光啓発・参画を目的とした 「篠栗町観光交流拠点 339Re(ささぐり)」を開設 ・ 観光交流拠点 339Re は観光協会で運営する交流スペースで、観光に関する情報や協会の取組を紹介しているほか、地元人気店のお菓子やグッズ販売も行っている。地元住民の憩いの場、交流の場となっている。 ・ 今後拠点の敷地を住民に有効利用してもらうため、貸スペース実施（ ・ 篠栗北中学校 課外授業 15 名 <p>篠栗の観光啓発や学生との観光企画共有、ディスカッション</p>						
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>【活動の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">事業</th> <th>実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>情報発信・プロモーション</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等メディアへの情報発信 ・ 2020～2021 年福岡県観光地域づくりモデル事業 具体事業内容：インスタフォトコン・HP リニューアル等 デジタルサイネージ等 ・ 霊場会主催イベント「出開帳」の支援 （注釈：出開帳）篠栗の霊場が寺院以外の場所に出張し行われる開帳のこと。出開帳で参拝すれば、篠栗の 88 ヶ所霊場の各所を巡拝するのと同じご利益がいただける。 ・ 篠栗町観光交流拠点 339Re での情報発信・交流 ・ 福岡町村フェア（町の特産品の展示販売と観光資源である森林セラピーツアーや篠栗四国 88 ヶ所霊場やお寺体験の案内） ・ アビスパ福岡応援デー ・ アクロス福岡にて PR 展示 ・ 福岡開催 MICE での PR・プロモーション ・ 福岡県 DC 事業「豊前×篠栗」冊子作成、PR </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>受入環境の整備</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客対応強化と地域住民集いの活性化を目的とした「篠栗町観光交流拠点 339Re」の開設(2021 年 10 月) ・ 観光案内看板の作成 ・ まちづくりに関わる地域振興事業 （行政と連携し四季に関連するイベント実施 篠栗祇園夏まつり等） </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等メディアへの情報発信 ・ 2020～2021 年福岡県観光地域づくりモデル事業 具体事業内容：インスタフォトコン・HP リニューアル等 デジタルサイネージ等 ・ 霊場会主催イベント「出開帳」の支援 （注釈：出開帳）篠栗の霊場が寺院以外の場所に出張し行われる開帳のこと。出開帳で参拝すれば、篠栗の 88 ヶ所霊場の各所を巡拝するのと同じご利益がいただける。 ・ 篠栗町観光交流拠点 339Re での情報発信・交流 ・ 福岡町村フェア（町の特産品の展示販売と観光資源である森林セラピーツアーや篠栗四国 88 ヶ所霊場やお寺体験の案内） ・ アビスパ福岡応援デー ・ アクロス福岡にて PR 展示 ・ 福岡開催 MICE での PR・プロモーション ・ 福岡県 DC 事業「豊前×篠栗」冊子作成、PR 	<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客対応強化と地域住民集いの活性化を目的とした「篠栗町観光交流拠点 339Re」の開設(2021 年 10 月) ・ 観光案内看板の作成 ・ まちづくりに関わる地域振興事業 （行政と連携し四季に関連するイベント実施 篠栗祇園夏まつり等）
事業	実施概要						
<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等メディアへの情報発信 ・ 2020～2021 年福岡県観光地域づくりモデル事業 具体事業内容：インスタフォトコン・HP リニューアル等 デジタルサイネージ等 ・ 霊場会主催イベント「出開帳」の支援 （注釈：出開帳）篠栗の霊場が寺院以外の場所に出張し行われる開帳のこと。出開帳で参拝すれば、篠栗の 88 ヶ所霊場の各所を巡拝するのと同じご利益がいただける。 ・ 篠栗町観光交流拠点 339Re での情報発信・交流 ・ 福岡町村フェア（町の特産品の展示販売と観光資源である森林セラピーツアーや篠栗四国 88 ヶ所霊場やお寺体験の案内） ・ アビスパ福岡応援デー ・ アクロス福岡にて PR 展示 ・ 福岡開催 MICE での PR・プロモーション ・ 福岡県 DC 事業「豊前×篠栗」冊子作成、PR 						
<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客対応強化と地域住民集いの活性化を目的とした「篠栗町観光交流拠点 339Re」の開設(2021 年 10 月) ・ 観光案内看板の作成 ・ まちづくりに関わる地域振興事業 （行政と連携し四季に関連するイベント実施 篠栗祇園夏まつり等） 						

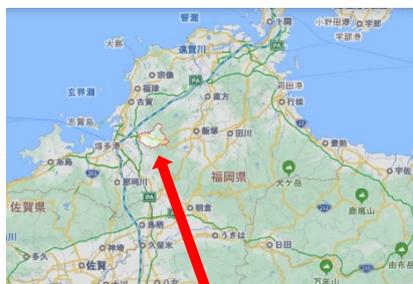
		<ul style="list-style-type: none"> ・体験推進事業 (地元の特色を生かした体験プログラム整備:お寺体験等)
	<p>観光資源の 磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業法に基づく旅行業 お遍路文化を観光資源として活用した旅行商品の企画 及び造成、催行 <ul style="list-style-type: none"> <令和5年度実績> お遍路ツアー日帰り8本、参加合計89名 お寺体験コラボ企画1泊2日1本、参加合計15名 企業・学生研修5本、参加68名 お寺体験4月～11月実施、参加合計53名 「お遍路さんぽ」(令和4年9月より新設) <ul style="list-style-type: none"> ささぐりの町を散策しながら歴史や遍路作法を体験 ※篠栗ってどんな町? ささぐり文化初めの一歩 「お遍路基礎編」+「日帰り5コース」=88ヶ所結願 <ul style="list-style-type: none"> お遍路に興味がある30～70歳のアクティブ世代 をターゲットとした日帰り商品 ※若手僧侶を先達(ガイド)に、自分の心と カラダと向き合う1日を提供 「お寺体験」(瞑想・経・写仏・滝行) <ul style="list-style-type: none"> 若者、ストレスを抱える世代に向けての商品 ※五感を開放し、無になる時間を提供 ・篠栗の文化財産であるお遍路やお寺体験をコンテンツ化し 企業研修向けプログラムの開発、催行 <ul style="list-style-type: none"> ※自分と向き合う時間の体験が可能 ・森林セラピーロードを観光資源として活用した旅行商品 「森林セラピー体験やヨガ体験」の企画及び催行 ・誘客多角化 2021年マイクロツーリズム造成事業 <ul style="list-style-type: none"> 具体事業内容:トレイルランニング大会実証調査 規模15名参加 <p>実証効果:篠栗観光資源であるお遍路みちを取り入れた内容 で参加者の満足度は高かった。今後独自コンテンツ開発とし ての可能性を実証できた。</p> <p>今後の磨上げ:独自性を活かしより一般化・周知に取り組む。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県地域資源助成（2021年） 具体事業内容：お遍路ライドモニターツアー 規模 10名参加 実証効果：篠栗でのサイクルツーリズムの課題や方向性を確認することができた。 今後の磨き上げ：モデルルートの策定、HP等での発信 ・福岡県観光地域づくりモデル事業（2023年） 地元篠栗ならではの食メニュー開発 ・特産品 篠栗特産品（米焼酎：篠栗伝説、日本はちみつ）の開発PR。交流拠点にて販売、販路拡大取組 ・339Re ロゴ開発 ブランディング ・お寺体験等を観光コンテンツとしてPR
<p>実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</p>	<p>【定量的な評価】 （定量的な評価）</p> <p>協会来訪者数 2022年度 6,837名 ⇒ 2023年度 9,755名 （2021年篠栗町観光交流拠点 339Re のオープンにより大幅増。観光客や地元住民の集いの場として徐々に認知）</p> <p>協会 HP アクセス数 2022年 8月～11月 (68,150PV)</p> <p>協会インスタグラム 2022年 11月フォロワー数 920 ➡2024年 3月 1,229名</p> <p>協会 Facebook 2022年 11月フォロワー数 1,061 ➡2024年 3月 1,134名</p> <p>【実施体制の概要】 （一社）篠栗町観光協会が母体となり、メンバーには、宿泊業者、飲食業者、交通事業者、商工業等、森の案内人の会など多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施 （実施体制図）</p>

2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

福岡県



篠栗町

篠栗、都心から約20分のプチトリップ。



【区域設定の考え方】

篠栗町は福岡市内から東に約 12 km に位置し、車（都市高速道路利用）にて市内より 20 分、JR 篠栗線（福北ゆたか線）の快速を利用すれば博多駅まで 15 分の距離にあり、福岡都市圏から大変アクセスが良い立地である。

町の面積は 38.93 平方 km。東西約 8 km、南北約 7 km で、鉾立山・八木山・若杉山の峰々に囲まれた緑豊かな町で、中央には多々良川が東西に流れ、その周囲に平地が開けている。

総面積の約 7 割に山林が広がり、森林セラピーロードやキャンプ場等のレクリエーション施設や、180 年の歴史を持つ篠栗四国霊場に結びつきのある歴史的な遺産や施設などが数多く点在している。

地域としては糟屋郡内に属するが、篠栗独自のお遍路文化を元に発展した経緯があり、観光区域としては篠栗町内での区域設定をしている。

【観光客の実態等】

No	項目	データ	補足	No	項目	データ	補足
1	延べ宿泊人数	4879人	2021年データ	5	県外からの来訪者数	4,134人	2021年データ
2	県内宿泊者%	約40%	〃	6	県外者割合（滞在人口）	県外者3.3%	〃
3	宿泊男女比	男性約70% 女性約30%	〃	7	指定地域の目的地一覧	自動車利用 南蔵院400回以上 次が米の山120回程度	2018年データ
4	宿泊人数	1人が全体の約75%	〃	8	地域経済循環率	74.60%	〃

・項目 No7 のデータ分析から観光客の多くは南蔵院に一極集中している。他の場所への回遊性が十分でない状態となっている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

- 篠栗四国八十八ヶ所霊場（南蔵院、呑山観音寺、山王寺等）
- 篠栗四国八十八ヶ所霊場のお遍路体験及びお寺体験（瞑想、写経、写仏、滝行）
- 森林セラピー基地（セラピーロード6コース）、大和の森遊歩道
- 若杉山（奥ノ院、若杉楽園キャンプ場）
- 米ノ山（米ノ山展望台）
- 五塔ノ滝
- 鳴淵ダム（清流公園、なるふち平）
- 春らんまんハイキング
- 篠栗祇園夏まつり
- 森林セラピーウォーキングデー
- 霊場開き

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

施設数：14 収容力：約550 施設規模：100名以上収容：2施設

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○篠栗町までのアクセス

【福岡市から】JR（福北ゆたか線）利用 博多駅から約15分。福岡都市高速利用 福岡市天神から約20分

【県外から】九州自動車道利用 福岡ICから約10分

○町内2次交通【域内交通】 篠栗町コミュニティバス（4コース）

【外国人観光客への対応】

○英文観光案内冊子 ○福岡市・福岡県との事業連携

○包括連携を結んでいる福岡女学院大学の学生に篠栗コンテンツ体験を実施・動画等作成（2022年10月、2023年2月実施、2023年9月実施）

○OTA ツアーweb サイト掲載

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため	アンケート調査を自主事業として実施
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため	RESASを活用して実施
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため	観光協会体験プログラム（ツアー）アンケート実施
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため	観光協会体験プログラム（ツアー）アンケート実施
若杉楽園キャンプ場売上額	収入の大きな柱となる売上を目標指標、数値設定することで、より組織として自走へ向けた数値管理を行うため	キャンプ場専用サイトにて数値収集
観光協会HP閲覧数	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため	Googleアナリティクスを活用して実施
観光SNS登録者数	プロモーション、SNSでの効果測定を把握するため	観光協会等のSNS登録数を集計
着地型体験プログラム利用者数	観光体験来訪数の推移とニーズや傾向分析のため	体験プログラム（協会HP）集計 専門サイトより数値収集

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

お遍路の街として最盛期の昭和 30～40 年代には年間 100 万人もの篠栗四国参拝者が訪れ、旅館やお土産店等観光産業は活気があった。しかし平成から令和に入り、高齢化や多様化により来訪者や宿泊者が激減、それに伴い旅館数(70 件⇒現在 14 件)も減少している。

観光産業全体が衰退し続けている現状がある。

その中で世界一のブロンズ涅槃像を誇る南蔵院は多数の日本人観光客やインバウンド客で賑うが、篠栗他地域へ人を回遊させる仕組みができていない状態である。

近年 2009 年 3 月に森林セラピー基地の認定を受け、町では大きな観光資源として位置付けているが特定のリピーターの利用に留まっている。

またお遍路ツアーやお寺体験など独自コンテンツもあるが十分生かし切れてない状態である。

- ・ 情報発信・露出、認知不足。(〇〇ならささぐりというイメージが確立できてない)
- ・ ターゲットへのプロモーション不足。 ・ 名産品が少ない。
- ・ デジタル化の遅れ。情報データ収集・分析が出来ていない。
- ・ 方向性の転換期 (お遍路の街に拘らず、with コロナの中で独自資源である心と体をととのえる癒し体験コンテンツを磨き、ターゲットに刺さる提案への方向へ)

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) 〈立地〉 <input type="checkbox"/> 福岡市からのアクセス良さ (博多駅から快速 15 分) <input type="checkbox"/> 近郊からのアクセス良さ (福岡 IC～10 分)	弱み (Weaknesses) 〈プロモーション〉 <input type="checkbox"/> 認知不足・情報発信が不十分・イメージ確立が出来ていない 〈回遊性・経済効果〉 <input type="checkbox"/> RESAS から多くは南蔵院観光のみ。回遊を促すプログラムの不足 <input type="checkbox"/> 周辺観光地への二次交通アクセスが不十分
	〈地域資源〉 <input type="checkbox"/> 九州唯一の町内だけで完結できる篠栗四国 88 ヲ所の霊場	

	<p>(ユーザーが求めるもの ⇒四国お遍路に代わる手ごろなお遍路体験)</p> <p><input type="checkbox"/>お遍路文化・歴史・お寺体験(瞑想等) (ユーザーが求めるもの ⇒心や体を整えるといった癒し体験)</p> <p><input type="checkbox"/>森林セラピー基地・ロード (2009年認定 福岡県最多5コース)</p> <p>(ユーザーが求めるもの ⇒奥深い森での リフレッシュ、手軽な健康コンテンツ)</p> <p><input type="checkbox"/>若杉山(米の山展望台・キャンプ場) (ユーザーが求めるもの ⇒大自然の中の雄大な景色・夜景など)</p>	<p><input type="checkbox"/>他地域と比較し滞在型観光ではなく経済効果が少ない</p> <p><input type="checkbox"/>篠栗ならではの特色ある名産品・グルメの印象がない</p> <p>〈施設・インフラ〉</p> <p><input type="checkbox"/>他地域と比較し宿泊施設が少ない。宿泊者減</p> <p><input type="checkbox"/>代表的な核となる地元お土産店やレジャー施設がない</p> <p>〈マーケティング〉</p> <p><input type="checkbox"/>データの収集・分析が不十分</p> <p><input type="checkbox"/>データ分析に基づく戦略策定・事業実施ができていない</p>
<p>外部環境</p>	<p>機会 (Opportunity)</p> <p>〈価値観やライフスタイルの変化・多様化〉</p> <p><input type="checkbox"/>モノより体験に価値を重視する傾向</p> <p><input type="checkbox"/>SDGsの意識の高まり</p> <p><input type="checkbox"/>人生100年時代での多様化</p> <p><input type="checkbox"/>癒し・健康志向 マインドフルネス(心)への関心など</p>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>〈需要〉</p> <p><input type="checkbox"/>高齢化によるシニア訪問者数の減少</p> <p>〈財源〉</p> <p><input type="checkbox"/>観光関連予算の縮小</p> <p>〈周辺地域間競争・対比〉</p> <p><input type="checkbox"/>周辺他地域レジャーとの差別化ができず埋没ぎみ</p>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入(様式自由)。

(3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層</p> <p>福岡市をはじめ福岡都市圏に住む30代~50代の女性で 特に癒しや安らぎといった「心やからだを整える」ことに関心がある女性</p>
<p>○選定の理由</p> <p>価値観・ライフスタイルの変化 (モノより体験に価値を重視する傾向、SDGs、人生100年時代での多様化、癒し健康志向、マインドフルネス(心)への関心高まり)</p> <p>○取組方針</p> <p>よりターゲットに刺さるSNS発信やHP情報更新を行う お寺体験(瞑想マインドフルネス)やヨガ・森林セラピー体験、健康食(精進料理)のコンテンツ充実を図る。ニーズに合わせ効果的に組み合わせ消費拡大を図る。 二次交通の実証実験(お遍路ライド等)を継続検証していき、ターゲットが篠栗内を楽しく回遊できる仕掛けを検討する</p>

<p>○第2ターゲット層</p> <p>福岡市をはじめ福岡都市圏に住むファミリー（親20～40代。子供（小学生）で子供の「情操教育」に熱心、関心が高い親とその子供</p>	
<p>○選定の理由</p> <p>篠栗での子供体験コンテンツ（寺小屋・ミニお遍路等）は他地域と比較し独自性があり高価値がある体験であることを周知できれば潜在的にニーズがあると考えられる</p> <p>広く篠栗の認知を広げることができるため</p> <p>また体験した子供が篠栗の良さを実感できれば、成長する過程で年代を通じて篠栗リピーターとして取り込むことができる</p>	
<p>○取組方針</p> <p>篠栗地元だけに留まっていた周知・実施を周辺地域にPR募集・運営</p> <p>二次交通の実証実験（お遍路ライド等）を継続検証していき、ターゲットが篠栗内を楽しく回遊できる仕掛けを検討する</p>	
<p>○第3ターゲット層</p> <p>インバウンド客。</p> <p>福岡開催の国際学会参加者や欧米人・アジア知的富裕層</p> <p>主に日本文化、特にお寺や仏教文化に関心の高い外国人</p>	
<p>○選定の理由</p> <p>福岡空港から20～30分のアクセスで行ける篠栗は福岡開催の学会・大会のアフターコンベンションエクスカージョンに適している</p> <p>また学会参加者や知的富裕層はお寺や仏教文化に興味関心がある方が一定数おり、その仏教文化を体験できるコンテンツ（お寺体験（瞑想、写経、法話、お遍路等）を持っている篠栗という環境は、このようなインバウンド客のニーズに適している</p>	
<p>○取組方針</p> <p>福岡開催大会・学会主催者への篠栗体験エクスカージョンの案内、提案</p> <p>福岡市内ラグジュアリーホテルに対して篠栗体験エクスカージョン案内、提案（ホテルスタッフモニター体験実施（2022年12月リッツカールトン福岡））</p>	

（4）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	篠栗(339Re)で。ととのう 「心とカラダを整える」
②コンセプトの考え方	<p>篠栗の特徴（強み・価値）は福岡都市圏のすぐ近くで、周辺地域にはない篠栗独自のいやしの場があり、体験できること。</p> <p>（森に囲まれた篠栗四国 88カ所お遍路体験やお寺での瞑想体験などのコンテンツや森林セラピーロード6コース）</p> <p>これらの体験を通じて周辺地域とは違った癒しや安らぎを提供できる。このことをコンセプトに反映させています。</p>

	<p>主にマーケット主流の福岡都市圏 30～50 代女性を メインターゲットとする</p> <p>そのターゲットに福岡都市圏すぐのアクセスの良い篠栗に 本物の健康や体験志向のニーズを満たす場が有ることを 認知させ、ニーズの受け皿としてブランディングしていく 「心とカラダを整える」を切り口に</p> <p>篠栗独自のいやしコンテンツで来訪者がリフレッシュされ リピーターとして四季折々に篠栗に来て頂きたい</p> <p>339Re (339 : 三々九度、Re:再生・再来・循環)</p> <p>お客様の心と体の再生、篠栗への再来</p> <p>お客様と篠栗町の人やモノの好循環を目指すという 考えからこのコンセプトに至る</p>
--	---

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>月 1 回の理事会</p> <p>関係者（篠栗町商工会、篠栗町旅館組合、若杉霊峰会、森の風篠栗、篠栗町）</p> <p>森の風・篠栗の定例会への参加（月 1 回）</p> <p>年 2 回の地域の会向けの会合</p> <p>区長会等の地域の会に対し、これからの篠栗観光の方向性や啓発、協力を目的とした説明会の開催</p> <p>活動の意義・内容・成果、K P I 等の達成結果等を記載した報告書を作成し、地域の関係者に説明を行うとともに、HPで公表</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>ツアーや体験参加者へのアンケート集計、評価、改善</p> <p>サービス維持、向上のための観光人材の育成 （森の風・篠栗スキルアップ研修、法青会月 1 回勉強会など）</p> <p>顧客目線による新たな商品開発</p>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>協会インスタグラムでの観光情報発信等（毎日）</p> <p>地域情報の発信（HP 等）</p> <p>観光交流拠点 339Re での情報発信（デジタルサイネージ）</p> <p>域外でのプロモーション活動</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須KPI

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●旅行消費額 (千円) ※ツアー売上	目標	()	2550 (0)	3000 (100)	3400 (200)	4000 (400)	()
	実績	2250 (0)	2680 (0)	2105 (7)			
●延べ宿泊者数 (人)	目標	()	6,000人 (0人)	7,000人 (30人)	8,000人 (50人)	8,500人 ()	()
	実績	4,879人 ()	6,484人 ()	()			
●来訪者満足度 (%)	目標	()	70% (%)	95% (%)	95% (%)	95% ()	()
	実績	()	91% ()	93% ()			
●リピーター率 (%)	目標	()	70%	80%	90%	90% ()	()
	実績	()	49% ()	55% ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

観光協会主催のツアープログラム参加者の取扱売上額をベースとし、アンケート等で前後の宿泊や飲食利用の情報収集を行い、旅行消費額調査を行っていく

●来訪者満足度

協会プログラム参加者等にアンケートを実施し来訪者満足度の集計を実施
満足度 80%以上を目標

●リピーター率

協会プログラム参加者等にアンケートを実施しリピーター率の集計を実施する
リピーター率 80%以上を目標

(2) その他の目標

指標項目		2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
●若杉楽園キャンプ場売上額 (万円)	目標	1,300 ()	1,200 ()	1,550 ()	1,700 ()	()	()
	実績	1,303 ()	12,117 ()	()			
●観光協会 HP 閲覧数 (万 PV)	目標	()	20PV ()	22PV ()	30PV ()	()	()
	実績	()	()	()			
●観光 SNS/FB 登録者数 (人)	目標	()	1100 (0)	1300 (10)	1600 (50)	()	()
	実績	725 ()	1,061 ()	1,134 ()			
●着地型体験 プログラム 利用者数 (人)	目標	()	380 (20)	450 (30)	600 (40)	()	()
	実績	258 (0)	346 ()	()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値 ※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

必須 KPI では把握できない必要な項目を設定

収入の大きな柱となる観光資源である若杉楽園キャンプ場の売上を目標指標、数値設定することで、より組織として自走へ向けた数値管理を行っていく

HP 閲覧数、SNS 登録者数を設定することでプロモーション、SNS での効果測定を把握する。

着地型プログラム利用者数を設定することで、よりプロモーション、SNS 効果などの動向を把握する

【設定にあたっての考え方】

●若杉楽園キャンプ場売上額

協会の収支から逆算し、将来の売上額を設定

トイレ新設等のサービス向上時期に併せて駐車料金額を上げるといった取り組みを行う。

将来的にはサイト整備等を充実させ付加価値を出し 1,700 万(売上)を目指す

●観光協会 HP 閲覧数 (PV)

Google アナリティクスを連携してデータを習得。タイムリーでよりターゲットに刺さる HP 作りと情報発信を行う。また他サイトとの連携や SNS を通じた自サイトへの誘導を図り、閲覧数増に取り組む。

●観光 SNS 登録者数

現在展開している Instagram、Facebook の登録者実数より算出。

●着地型体験プログラム利用者数

観光協会主催ツアー体験プログラム利用者数を把握することで、お客様のニーズや傾向分析に活用し、更なるリピーターを増やす。効果的な SNS 展開を行い、年間 20%増を目標

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳(具体的に記入すること)
2021(R3) 年度	60,927,858(円)	(主な内訳) 【会費】858,000(円) 【町から補助金】11,000,000(円) 【町/拠点開設支援事業補助金】15,000,000円 【観光庁/実証事業委託】10,260,000(円) 【収益事業】17,387,983(円)
2022(R4) 年度	31,000,000(円)	(主な内訳) 【会費】880,000(円) 【町から補助金】11,000,000(円) 【収益事業】19,000,000(円)
2023(R5) 年度	34,800,000(円)	(主な内訳) 【会費】703,000(円) 【町から補助金】11,000,000(円) 【収益事業】23,000,000(円)
2024(R6) 年度	39,395,000(円)	(主な内訳) 【会費】700,000(円) 【町から補助金】10,000,000(円) 【その他補助】2900,000(円) 【収益事業】24,770,000(円)
2025(R7) 年度	36,700,000(円)	(主な内訳) 【会費】700,000(円) 【町から補助金】10,000,000(円) 【収益事業】26,000,000(円)
2026(R8) 年度	37,000,000(円)	(主な内訳) 【会費】800,000(円) 【町から補助金】10,000,000(円) 【収益事業】26,200,000(円)

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳(具体的に記入すること)
2021(R3) 年度	54,274,128 (円)	(主な内訳) 【一般管理費】17,682,213(円) 【コンテンツ開発(観光資源の磨き上げ)】10,260,000 (円) 【収益事業】8,209,765(円) 【固定資産等】17,991,920(円)
2022(R4) 年度	31,000,000(円)	(主な内訳) 【一般管理費】16,700,000(円) 【情報発信・プロモーション】1,950,000(円) 【収益事業】12,350,000(円)
2023(R5) 年度	34,430,000(円)	(主な内訳) 【一般管理費】20,920,000(円) 【情報発信・プロモーション】1,190,000(円) 【収益事業】10,850,000(円)
2024(R6) 年度	40,360,000(円)	(主な内訳) 【一般管理費】22,070,000(円) 【情報発信・プロモーション】5,340,000(円) 【収益事業】12,770,000(円)
2025(R7) 年度	38,000,000(円)	(主な内訳) 【一般管理費】22,000,000(円) 【情報発信・プロモーション】4,000,000(円) 【収益事業】12,000,000(円)
2026(R8) 年度	38,000,000(円)	(主な内訳) 【一般管理費】22,000,000(円) 【情報発信・プロモーション】4,000,000(円) 【収益事業】12,000,000(円)

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

<ul style="list-style-type: none"> ・篠栗独自のお遍路ツアー、お寺体験、森林セラピーツアーの包括的な年間通じたプログラムの策定、実施、収益確保 ・若杉楽園キャンプ場での継続的な収益確保とサービス向上に伴った収益増に向けた取組 ・会員制度の拡充(サポーター会員を新設。町内のみならず町外からも会員を募る) ・名産品のブラッシュアップ、磨き上げによる販路拡大、販促による運営資金の確保

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。

福岡県篠栗町は、（一社）篠栗町観光協会を支援し、当町における地域DMOとしての登録を希望します。また、同協会とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

--

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	森重 健	
担当部署名（役職）	事務局長	
郵便番号	〒811 - 2417	
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町中央1丁目1番14号	
電話番号（直通）	092—947—1880	
FAX番号	092—719—1939	
E-mail	info@sasagurikanko.com	

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	福岡県 篠栗町	
担当者氏名	向囿 倫子	
担当部署名（役職）	産業観光課 商工観光係（係長）	
郵便番号	811—2492	
所在地	福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号	
電話番号（直通）	092—947—1217	
FAX番号	092—947—7977	
E-mail	kankou@town.sasaguri.lg.jp	

記入日: 令和6年7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

福岡県糟屋郡篠栗町

【設立時期】 平成26年4月1日

【設立経緯】 ④

【代表者】 太郎良 順一

【マーケティング責任者(CMO)】 森重 健

【財務責任者(CFO)】 石井 絵理

【職員数】 9人(常勤3人・パート6人)

【主な収入】

収益事業2,300万(主な収入キャンプ場管理約1,461万(R5年度決算)
町補助金 1,100万(令和5年度決算)

【総支出】

事業(収益事業)約1,204万円、
一般管理費約2,092万円(令和5年度決算) など

【連携する主な事業者】

篠栗町商工会・篠栗町旅館組合・若杉霊峰会・森の風篠栗

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2021 (R3)年	2022(R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年	2026 (R8)年
旅行消費額 (千円)	目標	()	2550 ()	3000 (100)	3400 (200)	4000 (400)	()
	実績	2250 ()	2680 ()	2105 (7)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (人)	目標	()	6,000 (0)	7,000 (30)	8,000 (50)	8500 ()	()
	実績	4,879 ()	6,484 ()	()	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	()	70% ()	95% ()	95% ()	95% ()	()
	実績	()	91% ()	93% ()	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	()	70% ()	80% ()	90% ()	90% ()	()
	実績	()	49% ()	55% ()	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ①福岡都市圏に住む30代～50代の女性
- ②福岡都市圏に住むファミリー
- ③インバウンド客(欧米人・アジア知的富裕層)

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

①より刺さるSNS発信やHP情報更新を行う
ニーズに合った体験コンテンツを効果的に組合せ
消費拡大を図る

②地元篠栗だけに留まっていた周知・実施を周辺地域にPR
募集
・運営

③福岡開催大会主催者やOTAインバウンド向け篠栗体験エ
クスカーションの案内・提案

【観光地域づくりのコンセプト】

篠栗で(339Re)。ととのう「心とカラダを整える」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・お遍路文化を観光資源として活用した
旅行商品企画
- ・福岡県地域資源助成【2021年】
具体的事業内容:お遍路ライドモニターツアー
- ・2023年 福岡県観光地域づくりモデル事業
(地元食メニュー開発)

【受入環境整備】

- ・観光客対応強化と地域住民集いの活性化を目的と
した「篠栗町観光交流拠点339Re」開設(2021年10月)
- ・まちづくりに関わる地域振興事業(行政と連携し
イベント実施(篠栗祇園夏まつり等)
- ・体験推進事業(地元の特色を生かした体験プログラム整備:お寺体験等)

【情報発信・プロモーション】

- ・2020～2021年福岡県観光地域づくり
モデル事業(具体事業内容:
インスタフォトコン・サイネージ等)
- ・福岡DC事業「豊前×篠栗」冊子作成PR

